

災害の備えを日頃から主治医と話し合い 治療内容を説明できるようにしておきましょう

災害時は病院や避難所などに緊急の医療体制が展開されます。最初は重症の患者さんが優先されるので、自分で対処できるようにしておくといいでしょう。

もし被災したら・・・災害の心構え7箇条

- ① 自分や家族の身を守る
- ② 正しい情報を確認する
- ③ 家族や友人と連絡をとる
- ④ 3日間は自力で乗り切る
- ⑤ 自分の病状、薬は覚えておく
- ⑥ 災害生活のセルフケアを心がける
- ⑦ 地域のコミュニケーションを大切にする



糖尿病患者さんのための災害に備えるチェックリスト

- 経口薬
- 水
- お薬手帳、糖尿病連携手帳、保険証、マイナンバーカード
- インスリン自己注射セット（インスリン、注射針、消毒アルコール綿）
- 血糖測定器、電極(チップ)
- 補食(ブドウ糖、飴玉など)
- 緊急連絡先のメモ
- 筆記用具(体調を記録するため)
- その他(避難袋等)



災害時にも大切なお口のケア

災害時に口のケアがなぜ大切なのでしょう？
災害時には、水が使えなくなることなどで、歯磨きや義歯の清掃が難しくなり、口の中の細菌が増えて誤嚥性肺炎のリスクが高くなると考えられます。避難所などでは歯ブラシなどの支援物資が手に入るとは限りません。口腔ケア用品も避難時持ち出しバッグに入れておくようにしましょう。

口腔ケアチェックリスト

- 歯ブラシ
- 歯磨き剤
- うがい液、マウスウォッシュ
- 義歯
(保管容器、義歯洗浄剤、義歯用歯ブラシ)



【お知らせ】

令和6年4月1日から高齢者肺炎球菌の定期接種の対象者が変わります。

国の方針により、**65歳の方のみ**が定期接種の対象となりました。令和6年度に70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方は、定期接種として予防接種費用の一部補助を受けることができなくなりましたので、ご希望の方は任意接種となります。

当院では予約制となりますので、希望の方はスタッフまで。

